森羅万象はグレーである：グレーシンキングの大切さについて

グレーシンキングとは、あらゆる物事を白か黒かと両極端に考えるのでは無くて、あらゆる物事は白と黒の間にあり、グレーであると言う風に考えると言う事です。

人は、どうしても戦争は良いか悪いか？君主論は悪か正義か？大学へは行くべきか否か？と一辺倒に考えたがる生き物ですが、ほとんどの場合、真実はその間にあるわけです。戦争も君主論も大学も、利点や欠点があるわけです。

では、どうして人は極端にどちらかを決めようとするのでしょうか？それは、極端を考えた方は楽だからです。大学の悪い事だけをリストアップする事。大学の良い事をリストアップする事。大学の良い事と悪い事の両方をリストアップする事では、どちらか一方をリストアップする方が時間も頭のエネルギーを使う事が少なくなりがちなわけです。

人を動物で例えるのなら、ナマケモノ。一辺倒な考えの方が楽なわけです。

しかし、森羅万象、世の中のあらゆる物事は、限りなくグレーです。あなたの小さな幻の妄想世界から抜け出したいのであれば、グレーシンキングを常に心がけて、真実の世界の色景色を吟味してはいかがでしょうか？